

EA770C(ドラフトゲージ)取扱説明書

(ドイツ)

このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

ブリゴン ドラフトゲージ

煤道およびオーバーファイヤのドラフトの測定

- ・ブリゴンドラフトゲージは煤道内のドラフトおよび燃焼室内のオーバーファイヤドラフトを迅速かつ正確に測定します。
- ・効率よく経済的な燃焼をさせるには、できるだけ変動のないコンスタントな排ガスの流れが不可欠です。
- ・ボイラー/炉のメーカーの推奨する正しいドラフト値を参照して下さい。
- ・煤道内ドラフトの測定孔はドラフトレギュレーターより15cm位。ボイラー/炉の方へよった所にあります。もしない場合には、その位置に孔をつくって下さい。



[測定器]

測定範囲 : +0.1 ~ -0.5 mbar

測定目盛 : 0.02mbar

精度 : 0.02mbar

[測定]

- ・ブリゴンドラフトゲージは、他のブリゴン燃焼測定器と同様、通常作業可能温度で測定して下さい。
- ・ドラフトゲージをまっすぐ立てるか、まっすぐにつるします——測定中はそのままにして下さい。
- ・測定する前に右側にあるレバーを操作して指針を0に合わせます。これで準備OKです。
- ・金属製の吸入チューブを測定孔に差し込みます。又、このチューブについているコーンで二次エアアの混入を防いで下さい。
- ・吸入チューブを差し込んでから、約30秒後に目盛でドラフト値を読み取って下さい。
- ・燃焼室のオーバーファイヤを測定する時は、燃焼補給口又は空気口を使って、燃焼室の炎の上に、延長させた吸入チューブを差し込んで下さい。

[保守]

ブリゴンドラフトゲージに保守は不要ですが、適宜、新品との比較チェックをおすすめします。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929